

## 日光戦場ヶ原スノーシューハイク山行報告

【山行日】2019年2月11日(日) 曇り

【集合】岩舟支所P AM 8:00

【費用】マイカー2台 : 1,800円

【メンバー】CL:鈴木ユ 安西、鈴木ヒ、関、田村、津佐、鶴見、福島、藤原、松館

【コースタイム】栃本市運動公園 P7:30＝

三本松茶屋 P9:00/9:30～光徳入口 9:50/10:00～

泉門ノ池 10:50/11:00～青木橋 11:20/11:50～

赤沼分岐 12:30～赤沼 12:40/12:50～三本松茶屋

P13:10/13:20＝栃本市運動公園 P15:00



初心者向けのスノーシューハイクとして、日光戦場ヶ原スノーシューハイクを計画した。去年と今年で十数名の方がスノーシューを購入し、スノーシューハイクを楽しみにして待っていた。マイカー2台に分乗し、奥日光戦場ヶ原の三本松茶屋 P を目指す。手前の赤沼茶屋に寄りトイレを済ませて行くが、三本松の駐車場に立派なトイレがあった。今回はスノーシューのレンタルは無い



ので、駐車場の奥に車を止め出発の準備をする。今年は駐車場に雪がほとんど無く、奥の雪がある場所まで行きスノーシューを付ける。駐車場の北側から光徳入口に向かって進み、ズミやカラマツの自然林の道を歩いて行く。例年より雪が少ないが、トレースはしっかり付いており歩き易い。光徳入口に着き、シカ避けゲートを通り道路を横切り、逆川を渡って国道から川沿いに降りる。そのままトレースを追って進むが、湯滝に向かって進んでいる。途中

から引き返し国道を戻ると、泉門池に向かう自然研究路へのゲートがあった。ゲートからは木々の間にトレースがしっかりとあり、湿原に出ると木道の上を歩くようになる。木道の上も雪が少なく、所々木道が露出しているので雪の上を歩くように心掛ける。左手に戦場ヶ原の雪原を見ながら歩き、晴れていれば高山など周りの山々が見渡せるが、雲が掛かり周囲の山は見えなかった。途中から山側に向かって大きく曲がり、木の階段を下って湯川に掛かる橋を渡ると、間もなくベンチとテーブルがある泉門池に着く。大休止しパイナップルや菓子をいただき、エネルギーを補給する。曇っているが風はほとんど無く、寒さを感じることなく雪景色を楽しめた。



記念写真を撮ったら、南に向かって自然研究路を進む。

すぐに小田代ヶ原への分岐を右に分け、左に戦場ヶ原西側の山沿いの道を進む。再び戦場ヶ原の一端に降り、少し登り返すと青木橋の休憩所に着く。ミズナラの林の中にベンチとテーブルがあり、



ここでランチタイムとする。テーブルでお湯を沸かし、各自持参したカップ麺にお湯を注いで美味しくいただいた。ランチが済んだら青木橋で湯川を渡り、ここからは戦場ヶ原のビューポイントが連続する。湯川のゆったりとした流れにカモが遊泳し、東には戦場ヶ原の広大な雪原が広がる。晴れていれば戦場ヶ原の向こうに、男体山や大真名子山、太郎山等日光連山の絶景が見られるが、残念ながら雲に隠れて見えなかった。

カモの遊泳や戦場ヶ原の雪原を楽しみながら歩

き、橋を渡ると赤沼分岐に出る。分岐から小沢に沿ってほんの少し歩くと、赤沼のトイレに着く。

トイレ脇の東屋でスノーシューを外し、トイレを済ませたら三本松駐車場に向かう。三本松駐車場までは国道を歩き、15分ほど歩くと駐車場に着く。靴を履き替え荷物を積んだら帰路につき、途中大谷PAに寄って買い物し予定より早く栃木市運動公園に帰着した。